

高岡市総合計画審議会 第1回総括部会 議事要旨

- 1 日時 令和2年7月20日（月）10:35～11:45
- 2 場所 高岡市役所3階庁議室
- 3 出席者 委員6名、参与2名、有識者3名、オブザーバー1名
- 4 概要 ・総合計画第4次基本計画の策定に向けた視点について意見交換
・第1期「未来高岡」総合戦略に係る評価について報告
※詳細については以下のとおり

5 総括部会の内容

(1) 開 会

(2) 市長挨拶

これまで築き上げてきた「都市の強み」と「まちの魅力」を最大限に活用するために必要となるのは、それを使いこなす「ひと」であり、「ひとの力」が今後の持続可能なまちづくり、地域づくりにおいて主役になっていくと考えている。「ひと」に注力した組み立てを考えていくにあたり、その方向性や方法についてそれぞれのお立場からの忌憚のないご意見をいただきたい。

コロナ禍において、人間としてのコミュニケーションを保っていくことについても大きな課題である。

本市を将来にわたって持続可能で活力ある高岡市にするための方向性について、それぞれのお立場からの貴重なご意見を賜りますようお願い申し上げます。

(3) 議 事

① 総合計画について

事務局 資料No.2 総合計画（第4次基本計画）について 説明

- 委員 ・「ひとの力」の中でも、高岡に住んでいる市民向けの（内向きの）取り組みが重要。自分が住んでいるところがすばらしいと思ってもらえる施策が人口減少対策につながる。その意味では、高岡のいいところを市民に発信する施策が大事。
- 委員 ・高岡の強み、魅力は、住んでいる人にとっては当たり前と感ぜられてしまう。高岡の当たり前がいかにもすばらしいかを認識してもらうため、他市や他地域との比較を行うなど、視野を拓ける仕組みづくりが必要ではないか。
- 部会長 ・YouTubeで「富山あるある」をやっているが、（高岡の強みや魅力を認識してもらうには）そういうやり方もあるのかもしれない。
- 委員 ・児童クラブ、婦人会、老人クラブなどの団体活動において、団体の力が弱くなっている。団体がいない地域は、組織として行事ができず、市に意見を言う場がなくなっている状況も見受けられる。
- 部会長 ・（その意味でもタウンミーティングなど、）市民の意見をお聞きすることが大事になる。
- 委員 ・ボランティアを含め、色々地域に関わってくれるような若い人がいない。今関わっている人が踏ん張っている状況。そのため、（今関わっていない人も含め）一人ひとりが力を出していかないといけない状況になってきている。

- ・勝興寺に行くまでの道が閑散としており魅力がない。保存修理が完成した頃に魅力がないと困る。そのため、まずは地域のみんなが魅力づくりに取り組む必要がある。
 - ・(6月に伏木駅前であった)「テイクアウトマルシェ伏木」は好評で30分で完売した。時代に合った魅力づくりを考えていけば人も集まる。
- 参与**
- ・地域での婦人の力が弱くなっている。女性をもう一度地域に呼び戻す手として、キーワードとしては「防災」の視点があるのではないか。
- 部会長**
- ・地域のネットワークは、女性の得意ジャンルであると思う。
- 参与**
- ・高岡のキーワード「ひとの力」であるが、これからの時代をどう見据えていくかを考えると、デジタル化を進め、若い人を取り込んでいくことが重要ではないか。
 - ・人口減少に対応するため、U I J ターンも含めてやっていく必要がある。
- 委員**
- ・第2次、3次の基本計画を振り返って、まちづくり指標にダイナミックな変更はなかったと思う。第4次に向けては、世界が一変している中で指標も政策もダイナミックに変わらざるを得ないと思う。
 - ・これまで、過去の事例や他市町村の取り組みなどあまり参考にしていないか、参考にしていることを表に出していないように思う。他市町村をどうベンチマークするかが大切。
 - ・「ひとの力」を突き詰めると、市役所内部の「ひとの力」、人材をどう測るかである。市職員のエンゲージメントはどうなっているのかという視点を考えていくべき。
 - ・ヘンリー・キッシンジャーの「官僚主義の欠点は定量化することしか政策にしない」という視点も大切で、定量化できないことを政策にすることも必要では。
- 部会長**
- ・これまでのご意見を踏まえると、もう少し付けたしたほうがいい。
 - ・デジタルトランスフォーメーション(DX)や新型コロナウイルスへの対応、新しい時代への覚悟・挑戦・工夫の視点をもう少し入れて考えていく必要がある。
 - ・高岡らしさや高岡ならではの強みを考える必要がある。呉西地域でのリーダーシップを発揮し、他市のいいところは学び、引っ張っていくという視点も大切である。
- 参与**
- ・「次の世代」から共感を得るとは、財政負担を次の世代に持ち込まないという意味があると解釈した。今あるものを維持・活用するとあるが、既存のものを残していく視点だけでなく、必要なものと不必要なものを整理する視点が必要ではないか。
 - ・視点の考え方を、どうやって市民の方の意識を醸成していくか、市民の方の意識に「火をつける」ような政策をしていかないといけない。
- 部会長**
- ・ひとが輝いて活動する「市民創造都市高岡」として、「ひとの力」をキーワードにしつつも、策定の視点はよりダイナミックにしていく必要がある。
 - ・総括部会のまとめとして、今後、事務局作成の資料に基づき、専門部会等で具体的な計画策定作業に入らせていただきたい。

② 総合戦略について

- 委員**
- ・直近の社会減の要因は。なぜ、転出が急激に下がったのか。他市町村との比較等はあるか。
- 事務局**
- ・転出の理由は、従来通り、就職・進学が多い状態である。都市部への転出が多くなっている。県内では、富山市・射水市への転出超過、その他の呉西地域では、転入超過と

なっている。

- 委員**
- ・転出が多くなっているのか、転入が少なくなっているのか。転出を抑えるべきか、転入を増やすべきか。転出を抑えることはできないだろう。転入は転入、転出は転出で捉えるべきである。
 - ・強みを生かす視点も大切である。京田地域でどれだけ魅力的な賃貸を増やすことができるか。
- 市長**
- ・これまでは持ち家施策が柱のひとつだったが、賃貸に軸足を移そうという議論もしているところである。
- 委員**
- ・不動産が売れない時代と言われているが、戸出西部小学校周辺のように、学校やスーパーが近いことで、完売している地域もある。その辺りも研究しながら、人口減少を抑えていく必要がある。
- 市長**
- ・学校やスーパーが近いことは、子育て世帯に需要があることが予想される。高岡市のターゲットも、子育て世帯であり、その辺りも研究してまいりたい。
- 有識者**
- ・北海道東川町は、人口が増加している奇跡的なまち。外国人に対する奨学金制度などが印象的である。外国人を受け入れ、そこでお金を落とすサイクルを構築していた。高岡市も、外国人の受入も課題のひとつである。
 - ・弊社では、ダイバーシティということで、女性活躍視点の働きやすい・住みよい職場づくりへの努力をしているところである。
- 有識者**
- ・自己満足に終わってはいけない。自らの指標だけでなく、民間の指標も表に出すなど、客観的に高岡市を見えるようにしていただけるとありがたい。
 - ・人口を増やすことは、所帯を持つことだと考える。企業誘致や、高岡で工場を大きくすること、社員を多く雇用することにもっと目を向けるべき。
 - ・子どもたちへの安全性の考慮し、兵庫県伊丹市では防犯カメラを市内に設置している。安全・安心・防犯にも力を入れながら、人口対策に取り組むべきである。
- 市長**
- ・どういう魅力ある職種を重点的に誘致していくかも課題である。
 - ・民間の指標も十分活用できていないので、今後のご指導いただきたい。
- 有識者**
- ・創業件数と同時に、倒産件数も把握すべき。
 - ・転出と転入は別に考えるべき。転入者と創業件数の関連性は、重要なポイントである。
- 市長**
- ・創業件数だけでなく創業率にも着目しているところである。
 - ・移住者による創業も行われているため、相関関係はあると考えている。
- 有識者**
- ・コロナ禍において、テレワークが推進され、仕事をそのままに移住をするスタイルも進みつつある。
- 市長**
- ・マルチハビテーションなど、多様化が進んでいる。
- 部会長**
- ・今後は、多様な視点で現状を評価し、高岡市を引っ張るという機運で取り組んでいただきたい。
- 市長**
- ・総合計画は、年度内に骨子を作成、次年度に完成を予定している。
 - ・目まぐるしく変わる社会情勢の中で、課題をしっかりと捉え、計画策定に取り組んでまいりたい。

(4) 閉 会

以上